

手術とパーキンソン病に関する臨床研究に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025 年 11 月 27 日 ～ 2028 年 9 月 1 日

〔研究課題〕

手術とパーキンソン病に関する臨床研究

〔研究目的〕

パーキンソン病が併存疾患にあると、術後合併症が懸念されます。術後合併症により入院期間にどのような影響があるか不明です。院でのデータを解析しパーキンソン病が併存疾患にあると、術後合併症により入院期間にどう影響を及ぼすかどうかを明らかにします。

〔研究意義〕

パーキンソン病が併存疾患にあると、誤嚥性肺炎や創部感染などの術後合併症が懸念されます。術後合併症の頻度やそのリスク因子についてわかっていません。当院でのデータを解析し、リスク因子を明らかにし、周術期管理に役立てます。報告例と比較し当院で改善を行いさらなる安全な手術に臨むことができます。

〔対象・研究方法〕

・対象：2009 年 1 月 2 日から 2025 年 3 月 6 日までのパーキンソン病患者の全 170 例

・観察方法

電子カルテから患者の年齢、性別、生存期間、有害事象の発現について集積し解析検討を行います。

主要評価項目は、全生存期間、有害事象の発現率

目標対象者数：2009 年 1 月 2 日から 2025 年 3 月 6 日までのパーキンソン病患者の全 170 例

〔研究機関名〕

帝京大学医学部外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

本研究は、「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に従います

個人情報保護のため、臨床情報は個人を識別できる情報(氏名、住所、生年月日、電話番号など)を加工し、独自の識別番号と研究対象者との照合に用いる患者 ID を作成し、対照表を作成します。対照表は研究責任者の板橋キャンパス外科学講座内の部屋の PC で保存します（研究責任者および情報管理責任者のみがパスワードを使用して閲覧可能）。識別番号と被験者の名前の対照表は情報管理責任者の情報管理専用の PC で保存します。研究終了後に電子化したデータセットを倫理委員会事務局に提出し、TARC にて 10 年保管の後に廃棄します。死者の情報については尊厳をもって取り扱います。

〔その他〕

本学における研究参加者の利益相反状況は、板橋キャンパス利益相反管理委員会によって管理されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 緑川裕紀

職名 助手

研究分担者:氏名 深川剛生

職名 主任教授

所属: 帝京大学医学部外科学講座

住所:〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL: 03-3964-1211 (代表)